

日本新聞協会広告委員会「個人情報の保護に関するガイドライン」

平成 18 年 5 月 12 日

日本新聞協会広告委員会は、個人情報の保護に関する法令等を尊重するとともに、個人情報保護の重要性を認識し、新聞広告にかかわる個人情報を取り扱う際のガイドラインを以下の通り定めます。

1. 個人情報の取得・利用について

新聞社は、広告ページに関する広告企画やプレゼント応募等に付随して、氏名、年齢、性別、生年月日、職業、住所、電話番号、ファクス番号、メールアドレス等により、個人を識別することができる個人情報を取り扱うことがあります。

新聞社が、読者から直接、個人情報を取得する場合は、利用目的を明らかにしたうえで、利用目的の範囲を超えて個人情報を取り扱うことはしません。

広告主や催し物の主催者が、広告の中で資料請求などの形態で読者の個人情報を収集する場合、新聞社は広告スペースを提供するだけで、新聞社が個人情報を取得・利用することはありません。広告主が読者の個人情報を収集する場合、広告主に対して利用目的・範囲を明示するよう求めます。

2. 個人情報の管理について

新聞社が取得した個人情報については、不正アクセスや紛失、破壊、改ざん、漏えい等が起きないように、適切に管理します。当該情報を引き渡したり、廃棄したりする場合、すべての履歴を記録し、残します。

取得した個人情報を本人の同意を得ることなく第三者に提供したり、開示したりすることはしません。業務の一部を第三者に委託する場合、委託先に対し、その個人情報を漏えい・流出させたり、不正利用したりしないよう、適切な管理を義務付け、監督します。

プライバシーポリシー（当該新聞社の個人情報の取り扱いに関する方針についての宣言）を定め、公表し、これを順守します。

3. 広告企画について

【第三者提供の場合】広告企画を通じて、新聞社が取得した個人情報を協賛広告主に提供する場合、提供する個人情報の項目（氏名、住所、電話番号等）を明らかにし、読者に対し「広告主に提供する」という利用目的を必ず明記し、読者の同意を得ます。

【共同利用の場合】新聞社と広告主で個人情報を共有する場合、共同利用することを紙面に明記し、共同利用者の範囲やそれぞれの利用目的等を本人が容易に知り得る状態にします。

4. プレゼント応募について

広告面で読者プレゼント等を行う場合、個人情報の収集・抽選・発送を行う主体者を明示します。年齢・職業などプレゼントの抽選および発送に関係のない項目がある場合は、その利用目的を紙面に明示します。当選者名を紙面に掲載する予定がある場合は募集の際、その旨を明示します。

5. 問い合わせ窓口、管理責任者について

新聞社は、個人情報の取り扱いに関する問い合わせ等に対応する窓口・管理責任者を設置します。保有する個人データについて、本人から利用目的の開示や追加、訂正、削除などの求めがあった場合、問い合わせ窓口または管理責任者が適切に対応します。

以 上